えんど久子県議が主張　新幹線やトンネルよりも

身近な暮らしの支援に税金を活かすべき

えんど久子県議は、９月県議会最終日の２４日、一般会計補正予算に対し次のような主旨で反対討論しました。

ケーススタディに選ばれても

東九州新幹線等広域交通推進事業費４４８万円に反対です。この補正予算は、基本計画路線のケーススタディ調査業務に必要な経費の一部です。７月１３日に我々が上京した際、国土交通省は「基本計画路線に係るケーススタディに選ばれたとしても、一般的な調査であり、整備計画路線への格上げにつながる整備法に基づいた法定調査とは全く別のものだ。整備計画路線の確実な整備を進めていく」という説明でした。

デメリットも議論すべき

東九州新幹線については、並行在来線や人口のストロー現象への影響などマイナス情報もしっかりと県民に周知し、メリットとデメリットの両面をしっかり議論する必要があります。

東九州新幹線に力を入れるよりも、物価高対策など身近な県民生活への支援を優先すべきだと考えます。

機運を盛り上げるため１億４６００万円の税金支出

その後、１０月８日の決算特別委員会で、えんど久子県議は、東九州新幹線や豊予海峡ルートンの機運醸成のための決算額を質問。佐藤県政での３年間で７７９８万円、今年度の９月補正の見込みまで含めると１億４６７６万円、と答弁がありました。

えんど県議は「別府で共産党が行った市民アンケートでは、豊予海峡ルートに反対は６４．７％、わからないが２２．２％。機運醸成ではなく身近な要望にしっかり税金を使っていただきたい」と主張しました。



討論するえんど久子県議　２６．９．２４．

日本共産党 県政ニュース

発行　日本共産党大分県議団
大分県議会議員　えんど久子
TEL・Fax０９７－５３７－２３４４

No. 92
2026.10.20.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

日本共産党えんど久子県議　慎重にと意見を述べる

スキマバイトなどで介護人材確保

モデル事業として

補正予算の「多様な介護の担い手確保対策事業」は、清掃や配膳を行う介護助手の確保や、潜在的介護福祉士の確保に向け、市町村や福祉人材センターと連携しながら、各圏域でモデル事業として民間マッチングアプリで応募しスキマバイトを含めた多様な人材確保をすすめるというものです。

えんど久子県議は、９月２４日の討論で、この予算について次のように意見を述べました。

慎重に見極めるべき

人材確保が大変厳しい中で、反対するものではないが、介護助手を含めて基本的な研修が必要ではないかと考えます。しかし、スキマバイトでは研修は難しいのではなでしょうか。入れ替わりが多いスキマバイトの現場への負担感など、モデル事業の中で慎重に見極める必要があることを指摘しておきます。

報酬アップを求めよ

介護報酬の大幅引き上げを国に強く求めるとともに、大分県としても介護職に対する賃金引上げや人材育成に力を入れることを求めます。



保育士確保に苦労する声を届けて

えんど久子県議は、９月１１日の県議会一般質問で、保育所等の保育士確保の問題について質問。

０・１・２歳児は年度途中の入所が多く、それまで市町村からの委託費は支給されません。埼玉県・岐阜県・愛知県・静岡県などでは、県が年度当初から保育士を配置する経費を補助しており、大分県も補助すべきだと求めました。しかし、県は今ある国の制度の活用を図ると答弁。今後とも力をあわせましょう。

日米共同統合演習に抗議し中止を求める



手前左えんど久子県議、九州各県の県議・市議・県議候補、後ろ右は田村貴昭前衆議院議員。えんど県議は大分空港周辺の住民への説明会を早急に行うよう求め、本省に伝えると回答がありました。

６日と１５日には大分県に申し入れしました。

福岡市内の九州防衛局にて　２０２６．１０．９．

大分県議会HP→インターネット中継で本会議の録画などを見ることができます。ぜひご覧ください